

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-218-6155  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	433,608	△2.7	1,672	△39.4	4,438	△20.2	3,243	△14.6
29年3月期第3四半期	445,667	△3.6	2,757	△34.2	5,563	△20.7	3,796	△19.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,954百万円(△5.0%) 29年3月期第3四半期 6,265百万円(△18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	57.56	49.53
29年3月期第3四半期	67.36	58.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	343,184	94,828	27.4
29年3月期	305,375	90,007	29.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 94,179百万円 29年3月期 89,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	△1.9	2,100	△34.5	5,800	△17.0	4,070	△14.8	72.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期3Q	61,224,796株	29年3月期	61,224,796株
30年3月期3Q	4,868,826株	29年3月期	4,868,605株
30年3月期3Q	56,356,117株	29年3月期3Q	56,356,337株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策等により、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調が続いておりますが、海外における政策不安など、先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、国の医療費抑制策により平成28年4月の薬価改定で7.8%の薬価基準の引下げが行われました。今後も薬剤費の抑制政策は継続されることが予想されます。

このような中、当社グループは、平成29年3月期から平成31年3月期までの3年間にわたる第3次中期経営計画の2年目となりました。第3次中期経営計画では、10年後に目指す姿としての長期ビジョンに、「医療・介護を支える商品やサービスを戦略的に提供することにより、地域・コミュニティのヘルスケアになくてはならない存在となる」ことを掲げております。そして、当該長期ビジョンの下、第3次中期経営計画の中期ビジョンとしては、「1. ジェネリック医薬品80%時代においても、利益を創出できる体制を構築する」「2. 医介連携ビジネスの基盤を整備し、地域のヘルスケアに深耕する」の2つを定めました。さらに、当該中期ビジョンを実現するため、4つの基本方針「1. 効果的・効率的グループ経営の実践によるグループ総合力の発揮」「2. 常に生活者視点を重視したエリアマーケティングの推進と更なる深耕」「3. ヘルスケア・コーディネーターの育成・定着」「4. 医療・介護分野でのソリューションカンパニーの実現」に取り組んでおります。

平成29年4月には、当社の完全子会社である㈱VKシェアードサービスを当社が吸収合併し、同社の情報システム部を当社ICT戦略部情報システム室といたしました。今後は、ICT戦略部が当社グループのシステム全般を管理統制し、ICT投資の見直しを図ってまいります。また、㈱ケーエスケーでは、平成29年12月から本社を新社屋に移転し、平成30年1月には大阪営業部と大阪第一中央支店と大阪第一北支店を統合した大阪支店が新社屋に移転しました。さらに、平成30年2月には大阪第二支店も統合し、拠点の集約を図ります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主たる事業である医薬品卸売事業で、C型肝炎薬の販売減少や、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ」の緊急薬価改定等の影響が大きく、結果は、売上高433,608百万円（前年同期比97.3%）、営業利益1,672百万円（前年同期比60.6%）、経常利益4,438百万円（前年同期比79.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,243百万円（前年同期比85.4%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業におきましては、予てよりカテゴリーチェンジによる長期収載品の販売減少が続いておりましたが、平成28年4月の診療報酬改定におきましても、更なるジェネリック医薬品使用促進策が打ち出され、当第3四半期連結累計期間におきましても長期収載品の販売減少が続いております。そのような状況の中、当社は新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度の対象品や新製品（先発品）の販売に注力してまいりました。また、医薬品卸売業界全体で取り組んでいる流通改善の1つである単品単価交渉の推進にも注力してまいりました。さらに、在宅ケアやがん医療など領域別の専門性を強化した領域別リエゾン（※1）の設置、32名のMS（※1）が「福祉用具専門相談員」の資格を取得して福祉用具の販売・レンタル事業の強化、かかりつけ薬局・健康サポート薬局づくりの支援を行う「Merionサポート」（※2）の展開など、医療・介護分野での幅広い事業活動を行ってまいりました。しかしながら、前述いたしましたC型肝炎薬の販売減少等の影響が大きく、結果、売上高は、412,242百万円（前年同期比97.2%）、セグメント利益（営業利益）は、1,465百万円（前年同期比55.5%）となりました。

今後につきましては、現在、㈱ケーエスケーの兵庫物流センターを建築中であります。兵庫物流センターは平成30年5月稼働予定で、都市型物流に適応した仕組みを構築し、物流の効率化を図ってまいります。

#### ※1 領域別リエゾン、MS

特定の疾患や医療分野の専門的な知識を有し、顧客視点で情報等を提供できる卸のMS（マーケティング・スペシャリスト、医薬品卸の営業担当者）

※2 Meronサポート

「Mer on」は、当社グループが提供する薬局ポータルサイトを中心としたカスタマーサポートで、地域の生活者をかかりつけ薬局にマッチングさせるプラットフォームのこと。「Mer onサポート」は、各種簡易検査・測定機器等をレンタルし、薬局のイベント開催を支援する「Mer on」のサービスの一つ。

Mer onホームページURL：<http://www.meron-net.jp/>

② その他事業

その他事業におきましては、売上高は、動物薬卸売事業の減収等により21,365百万円（前年同期比99.1%）となったものの、セグメント利益（営業利益）は、調剤薬局事業の業績が回復したため158百万円（前年同期比269.0%）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,022	37,238
受取手形及び売掛金	125,788	137,883
たな卸資産	29,137	32,967
未収入金	15,125	16,493
その他	2,318	1,800
貸倒引当金	△293	△79
流動資産合計	195,098	226,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,447	15,932
土地	19,880	19,874
その他(純額)	3,855	6,080
有形固定資産合計	39,183	41,887
無形固定資産		
のれん	4,239	4,007
その他	3,181	2,845
無形固定資産合計	7,421	6,853
投資その他の資産		
投資有価証券	51,732	55,387
その他	12,970	13,711
貸倒引当金	△1,030	△959
投資その他の資産合計	63,673	68,139
固定資産合計	110,277	116,880
資産合計	305,375	343,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	170,688	204,712
短期借入金	1,330	1,350
1年内返済予定の長期借入金	2,261	518
未払法人税等	370	839
賞与引当金	1,723	666
その他の引当金	202	223
その他	3,513	3,935
流動負債合計	180,089	212,245
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,029	10,022
長期借入金	4,812	4,800
その他の引当金	182	184
退職給付に係る負債	7,058	7,341
負ののれん	1,473	920
その他	11,723	12,840
固定負債合計	35,278	36,110
負債合計	215,368	248,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,739	12,739
利益剰余金	49,726	51,840
自己株式	△3,759	△3,759
株主資本合計	63,706	65,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,204	26,941
退職給付に係る調整累計額	1,503	1,416
その他の包括利益累計額合計	25,708	28,358
非支配株主持分	592	648
純資産合計	90,007	94,828
負債純資産合計	305,375	343,184

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	445,667	433,608
売上原価	412,072	401,215
売上総利益	33,595	32,393
返品調整引当金戻入額	240	202
返品調整引当金繰入額	235	223
差引売上総利益	33,600	32,373
販売費及び一般管理費	30,843	30,701
営業利益	2,757	1,672
営業外収益		
受取利息	104	107
受取配当金	640	667
持分法による投資利益	93	89
受取事務手数料	1,086	1,091
負ののれん償却額	552	552
その他	422	352
営業外収益合計	2,899	2,861
営業外費用		
支払利息	29	34
賃貸費用	49	44
その他	14	14
営業外費用合計	93	94
経常利益	5,563	4,438
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	57	113
投資事業組合持分払戻益	—	172
その他	25	4
特別利益合計	84	292
特別損失		
固定資産売却損	11	—
減損損失	27	15
固定資産除却損	5	9
解体費用	59	—
その他	22	1
特別損失合計	127	26
税金等調整前四半期純利益	5,519	4,705
法人税等	1,645	1,401
四半期純利益	3,874	3,304
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,796	3,243

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,874	3,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,302	2,720
退職給付に係る調整額	△163	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	252	16
その他の包括利益合計	2,390	2,650
四半期包括利益	6,265	5,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,187	5,893
非支配株主に係る四半期包括利益	78	60

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	424,101	424,101	21,566	445,667	—	445,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,784	3,784	1,938	5,722	△5,722	—
計	427,885	427,885	23,504	451,390	△5,722	445,667
セグメント利益	2,638	2,638	58	2,697	60	2,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額60百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	412,242	412,242	21,365	433,608	—	433,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,785	3,785	1,610	5,396	△5,396	—
計	416,028	416,028	22,976	439,005	△5,396	433,608
セグメント利益	1,465	1,465	158	1,623	48	1,672

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額48百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。